

○ 主催者あいさつ

■ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議会長 浜松市長 鈴木康友



皆様、こんにちは。ご紹介を賜りました、浜松市長の鈴木康友でございます。本日は、第17回となりました「三遠南信サミット in 東三河」に、本当に多数の関係者の皆様にご列席をいただきまして、本当にありがとうございます。そして、豊橋市長の佐原市長を始め、この会議の開催に当たりまして豊橋市並びに関係者の皆様に大変お世話になりましたこと、高い席からではありますが、心から厚く御礼を申し上げたいと思います。

今回、回を重ねて17回目となる、この三遠南信サミットでございますが、前回と大きく異なるのは、いよいよSENA、三遠南信地域連携ビジョン推進会議ができて、このSENAがいよいよ動き出すということでございます。今回のテーマは、日本の県境連携のモデルとしていこうということで、三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて、これから全体会、あるいは分科会でご議論をしていただくこととなります。SENAが運営をする初めてのサミットになりまして、これまで交流を中心に行っていました、この三遠南信のいろいろな連携が、いよいよ具体的なビジョンの推進という形に変わってくるということになります。

この4月からは、豊橋市さん、それから飯田市さんからも、浜松市の方に職員の方にお越し

をいただきまして、今、この事務局が設置をされているいろいろなことが動き出しているということございまして、いよいよこの三遠南信連携がスタートしたなという感を強くしております。

そしてまた、この三遠南信連携ビジョンにつきましては、今、国の方で将来の道州制の一つのたたき台となる広域地方計画が各地でつくられているのですが、この中部圏の広域地方計画、この中に三遠南信連携の取り組みがリーディングプロジェクトとしてきちんと位置づけられたということでございます。それだけ、この県境を越えた地域連携が、今、国においても大きく注目をされているということございまして、今、地域主権国家に向けた動きが加速する中で、ある意味で日本をリードする、この地域の連携の取り組みではないかなと思う次第でございます。そういう意味で、我々も自信を持ってこの連携をこれからはしっかりと進めていきたいと思う次第でございます。

本日は、こうしたことを踏まえまして、全体会、あるいは分科会におきまして、今後取り組む重要事項につきまして、関係の皆様からいろいろご意見、ご提言をいただくことになっております。是非活発なご議論を期待するところでございます。

そして、中央大学の山崎朗先生にお越しをいただきまして、今後の分権時代の地域の取り組みについてご講演をいただくことになっております。先生のご示唆もいただきながら、我々の今後の連携に是非活かしていきたいと思っております。

結びに当たりまして、この三遠南信連携が、このサミットを通じていよいよ具体的に、大いに飛躍をしていく、そういうサミットになりますことを期待いたしますとともに、今日ご列席の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念を申し上げまして、冒頭に当たりましてごあいさつにかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。よろしく申し上げます。

○ 開催地域代表あいさつ

■ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議副会長
豊橋市長 佐原光一



皆様、改めましてこんにちは。豊橋市長の佐原でございます。本日はご多忙中にもかかわらず、大変多くの方々、関係者の皆様方にこの東三河、豊橋の地にお集まりいただきました。開催地を代表いたしまして、ようこそ豊橋へということで御礼を申し上げたく存じます。また、平素から三遠南信地域の振興、発展に格段のご協力をいただいておりますご来賓の皆様方におかれましては、本日お忙しい中ご臨席をいただきまして、誠にありがとうございます。

先ほどお話がありましたように、平成5年度に始まりましたこの三遠南信サミットが、今回で17回目ということでございます。東三河、この地域では6回目の開催になります。また、お話がありましたように、今回から三遠南信地域連携ビジョン推進会議、SENAが主催する初めてのサミットになります。そういった新しい形でのサミットをこの豊橋の地から始めることができるということは、私どもとしては大変光栄なことで存じております。開催に当たっての、皆様方のおもてなし、お迎えする立場で、この東三河の地域の持つております伝統的なおもてなしの心で、是非皆様方に今回のサミットをご堪能いただけるようにサポートをしっかりさせていただきたいと、このように思っております。

さて、この三遠南信地域、この地域は日本のいろいろな意味での生産、経済活動の中心であろうと思っております。人口でいってもちょう

ど日本の真ん中に当たるわけですが、そんな地域で大変活発な、さまざまな種類の工業が行われております。そして、農業の生産に至っては、本当に近代的な農業の集積地でございます。また、これらのものを運びます高速道路網、そして鉄道網、いろいろなものがございますが、とりわけ海外に向けては三河港があり、東側に行きますと御前崎港があり、そしてこのたび供用の始まりました富士山静岡空港があるということでございます。

今、私たちが大きなテーマとしております三遠南信自動車道、そして浜松三ヶ日・豊橋道路、これの縦の柱、背骨がしっかりできることによりまして、これまでに既に供用を始めております各種の産業基盤、生活基盤、社会基盤がますます活かされることになると思います。そして、この三遠南信地域には、古くから培った伝統ある文化、そして皆様方が持つております自然豊かなそれぞれの地域の特徴、こんなものを三遠南信の場で、みんなで紡ぎ合わせ、力を携えて一つの力にしていきたいと思っております。是非、このサミットの場所がビジョンを推進する中でそういったことをしっかり考え、行動に移す、そしてなし遂げていく、そんな場所になることを期待してやみません。

また、本日、関係しますたくさんの方の市町村の議員の方がお集まりでございますが、この豊橋の地で三遠南信正副議長協議会が今年度も行われております。そうしたことで、議員の方たちも大変多数の方にご参加をいただいております。第2回三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会の総会が先ほどまで行われておりました。今お話をいたしました、この三遠南信を貫く背骨のことを、議会の立場からも応援していただき、本当にうれしく思っております。

そして、10月には同じくこの豊橋の地で第2回の三遠南信しんきんサミットが開催されております。こちらの方では、経済の立場で三遠南信のことをお考えいただいたと思っております。

最後になりますが、今日のサミットの場所で、よく考えてよく行動する、そして成果を上げて

いくための活発な議論がされまして、この三遠南信サミット、みんなが参加してよかったな、いい勉強になったな、これから頑張っていこう、そんなことを心に誓い合えるようになれることをご祈念申し上げまして、そしてご参加の皆様方のご健勝、ご発展を祈念申し上げまして、開催地の代表としてのごあいさつとさせていただきます。本日は、皆様、どうぞよろしくお願いいいたします。

■三遠南信地域連携ビジョン推進会議副会長
豊橋商工会議所会頭 磯村直英



皆様、こんにちは。第17回の三遠南信サミットがこのような盛大に開催されますことを大変うれしく思うとともに、行政の皆様、そして議会の関係の皆様、市民団体の皆様、そして商工会議所、商工会の皆様、遠来よりもお忙しい中ご出席を賜りまして、開催地域の会頭として心より歓迎を申し上げたいと思っております。また、平素は三遠南信地域の振興に格別のご高配をいただいておりますご来賓の皆様にも、お忙しい中ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

商工会議所、商工会を取り巻く環境は、大変変化をいたしております。低迷が続けます景気、そして、少子高齢化の到来、グローバル化、情報化、地球温暖化の問題、そしてニーズの多様化など本当に大きな環境の変化を迎えております。経済団体といたしましては、中小企業のさらなる支援強化、そして地域の活性化にさらにまい進することが求められていると考えているところでございます。今後ともそういった努力

を続けていきたいと考えているところでございます。

三遠南信地域のことにつきましては、ただいま会長であります浜松市長さん、そして豊橋市長さんからもお話がございました。交流から連携、そうした、実際に活動を始める時代に入っ
てまいりました。地域連携ビジョンを着実に推進していくことが一番重要だと考えております。

私ども商工会議所・商工会からなる地域経済開発協議会の役員会を午前中に開催いたしまして、次年度、初めて連携事業といたしまして、街道浪漫クイズラリーを実施することになりました。初めての試みでございますが、その節は皆様に絶大なご支援、ご協力をしていただきまして、成功裏に結びつけたいと思っております。

私ども経済界といたしましては、三遠南信道路の早期完成を求める運動を始めといたしまして、新産業創出や販路開拓、またグローバル化への対応など、広域的な視点に立ち連携協力していきたいと考えているところでございます。

本日は、この全体会、そして分科会と進んでまいりますが、当地域にとって大変意義のある、またご参会の皆様にとりましても実りのあるものになることを期待いたしまして、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○ 来賓祝辞

■ 国土交通省中部地方整備局長

富田英治 様



皆様おめでとうございます。ご紹介いただきました中部地方整備局長の富田でございます。今日は、第17回三遠南信サミット2009in 東三河が、新しい枠組みの中でこのように盛大に開催されましたことを、心よりお慶びを申し上げます。また、こういった場にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

ご来場の皆様方には、国土交通省関係の行政、特に中部地方整備局が実施しておりますいろいろな施策あるいは事業に、平素より大変深いご理解とご協力、ご支援をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして御礼を申し上げたいと存じます。

この3つの県にまたがる三遠南信地域、豊橋市長のお話にもございましたように、大変大きなポテンシャルを有した地域であるわけでございます。人口にして230万人、そして工業出荷額も13兆円という非常に大きなポテンシャルを秘めた地域でございます。また、もちろん歴史的にも、塩の道を通じた人・もの・情報の交流がされていた地域でございまして、この地域の中での大きな動脈となっておりますのが国道の150号、151号であるわけですが、ご存じのように、この中央構造帯に位置して大変険しい山の中を通っている道なものですから、自動車が通れないとか、あるいは行き違い通行ができないという、いわゆる未整備区間も大分ございまして、これがその地域内の連携交流に大変大

きなネックになっている状況があったわけでございます。

そういったことから、私ども国土交通省といたしましては、延長100キロメートルにわたる三遠南信自動車道を計画いたしましたわけございまして、緊急性の高い区間から順次整備を進めている状況でございます。

昨年の4月に、飯田山本インターから天竜峡インター約7キロメートルほどでございますが、供用を開始させていただいております。また、三遠道路、佐久間道路については、今、鋭意整備を進めていると、こういう状況でございます。

また、青崩峠道路でございますが、これは今、環境影響評価の進捗を進めてきておりまして、今年の6月でございますが、評価書を公告するということところで、一応一つの段階がここで終わったと、こういう状況になっているわけでございます。

こういったことで、この三遠南信道路も整備が着々と進んできているわけでございますが、肝心なのは、こういう道路も十分に活用していただきながら、この地域がどういう形で活性化していくかということであるわけございまして、先ほどお話ございましたように、昨年の3月にこのサミットで策定をさせていただきました「三遠南信地域連携ビジョン」、この実施に向けて各種、大変意欲的な取り組みをしていただいていると存じ上げております。

また、それに加えまして、先ほど鈴木市長からもご紹介ございましたが、この中部圏の広域地方計画、ちょうど今年の8月に策定がされたものでございますが、この中でも全部で14のリーディングプロジェクトが決まっております、その非常に重要なプロジェクトとして「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」が位置づけられている状況でございます。

こういったことで、基盤の整備を進めながら地域の活性化を連携を図りながら進めていく、まさにそういう実施の段階に入ってきたという実感がするわけでございます。

また、各地域でもそれぞれ、これと連携して

意欲的な活性化の取り組みを進めていただいているわけでごさいます、例えば豊橋市さんの場合でごさいますと、三河港を活用した「国際自動車コンプレックス計画」をつくられて、非常に意欲的な取り組みをされている。また、飯田市さんにおかれましては、「環境モデル都市」の認定を受けられまして、地球温暖化ガスの削減をキーワードとした各種取り組みをされている。そして、浜松市さんの方では「モザイカルチャー世界博 2009」、これが開催され、大変な賑わいをしておられる状況でごさいます。

こういった取り組みが一体となって、この地域がますます交流を活発化し、また発展されていくことを心よりお祈り申し上げるとともに、本日ご参集の皆様方のますますのご健勝をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきますと存じます。今日は本当におめでとうござさいます。

■ 経済産業省中部経済産業局長

宮川 正 様



ただいまご紹介賜りました、中部経済産業局長の宮川でごさいます。まず、冒頭ではごさいます、先の台風 18 号では、この三遠南信地域において大きな被害が発生されたと伺っております。心よりお見舞い申し上げたいと存じます。さて、本日この第 17 回三遠南信サミット 2009 in 東三河が、かくも盛大に開催されましたことに対しまして、心よりお喜び申し上げたいと存じます。

先ほど来、皆様からご紹介ありましたように、この地域が人口で 230 万人、また、産業規模でも 1 県に匹敵するような、こういう規模を持っ

ておられると聞いております。さらに、多様な自然環境、特色ある歴史、文化を有するポテンシャルの高い地域だと伺っております。

昨年 3 月にはビジョンを策定されまして、また本日、このビジョンを実現する、それを目指しまして県境連携モデルの構築と、これをテーマとする本サミットがこの地域で開催されるということは、誠に有意義ではないかと思っております。是非実りある成果を収められますことを期待したいと思います。

ご承知のとおり、中部管内の経済状況でごさいます、確かに数字自体は少しずつよくなっているということでごさいます、残念ながら、こういった経済の実感というものがまだ雇用の面、そして中小企業の方々のビジネスの面では出てきていないと、こういうことで、厳しい状況が続いているのではないかと思っております。私ども中部経済局といたしましても、雇用対策、そして年末にかけた資金繰り対策に万全を期してまいりたいと、かように考えているところでごさいます。

さて、当地域は、自動車、航空機産業、こういうことでごさいます、既に実際のビジネスは車体、機体メーカーと部品メーカーとの間では県境を越えた形でどんどんビジネスが進んでいるわけでごさいます。そういう意味では、有機的な連携が既に経済のビジネスの中では進んでいるということが言えようかと思っております。当局といたしましても、自動車関連では、最近ご承知のとおりエコカーということでごさいます、電気自動車、ハイブリッド、プラグインハイブリッドと新しい自動車も出てきております。こういうことをにらみまして、部品周りの新しい有望技術分野を明示させていただきたいということでごさいます、勉強会を開始いたしました。是非こういった有望な技術周りの分野を明示させていただきまして、政策パッケージをつくってまいりたいと、かように考えております。また、航空機産業におきましても、来年夏に開催をされます英国の航空ショーで当局分のブースを確保いたしまして、当地域を含めまし

て中部地域の部品産業の方々の出展を支援してまいりたいと、かように考えております。

また、今日もセミナーでご講演があらうかと思いますが、農商工連携でございます。この事業におきましては、従来、商品開発の積極支援をやってまいりましたが、さらに今後は販路開拓ということで、この部分については是非積極的に展開をしてみたいと、かように考えております。本サミットのご参加の皆様方におかれましても、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお祈りしたいと存じます。

最後になりましたが、三遠南信サミットのさらなるご発展と、また、今日ここにご出席の皆様方のご健勝、ご発展を祈念し、ごあいさつにかえさせていただきます。本日は本当におめでとうございました。

■愛知県副知事 西村 眞 様



皆様、こんにちは。神田知事がまいりましてごあいさつを申し上げるところでございますが、所用がございまして出席ができませんでした。私、副知事の西村でございますが、私から一言ごあいさつをさせていただきます。第17回の三遠南信サミットがこのように盛大に開催されますことを、心からお喜びを申し上げます。

三遠南信地域は、古くから天竜川や豊川を介した水運を利用して、木材や海産物などが行き来し、これに伴って人の交流も盛んであったところであり、近年も地域の活性化を目指し、産業、文化、観光などの多様な交流・連携活動が展開され、県境を越えた地域連携という点から大きく注目をされているところでございます。

本年8月に策定をされました「中部圏広域地方計画」では、中部圏のリーディングプロジェクトの一つとして「三遠南信流域都市活力向上プロジェクト」が位置づけられており、産学官民が一体となって、このサミットで合意した「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向けて、地域資源を有効に活用するとともに、県境を越えた地域間の交流、連携に取り組むことが謳われております。地域住民、大学、経済界、行政の方々が一堂に会し、県境を越えた地域連携を推進し、一体的な圏域発展の方策を模索することを目的としました当サミットは、まさにこのプロジェクトの推進に向け、大変有意義なものであり、その成果が期待をされております。

ところで、当地域の広域連携を支える上で最大の機軸となりますのが三遠南信自動車道であり、本年度より測量設計が進められております青崩峠道路やトンネル、橋梁などの工事が鋭意進められております三遠道路など、長野、静岡、愛知の各県内において着々と事業進捗が図られておりますことに深く感謝を申し上げる次第であります。新政権におきましては、公共事業の削減・見直しが行われておりますが、この道路は三遠南信地域発展の礎として、また地域の人々の暮らしを支える命の道として欠くことのできないものであり、今後も一層の整備促進を期待する次第であります。

最後になりましたが、本日の三遠南信サミットが実りある成果を収められますことと、本日もご出席の皆様方のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございました。